

# 全佛婦

No. 136  
2023年新年号  
1月1日発行



公益社団法人  
全日本仏教婦人連盟

## 全佛婦136号

令和5年1月1日 発行日

編集委員 編集人

花岡真理子 発行人

発行所

公益社団法人 全日本仏教婦人連盟

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷

4-5-10-205

03-5772-0677 電話

<http://jbwf.jp> URL

[info@jbwf.jp](mailto:info@jbwf.jp) MAIL

本多良之師 表紙画





新年おめでとうございませす



東伏見 具子

久しぶりの再会、響き合う笑い聲

悲しい事にマスク生活も四年目に突入してしまいました。昨年には全国旅行支援もあり人々が動き出しました。仏婦の大会も三年ぶりに開催されました。

久しぶりの再開を喜び合う会員の皆様方。やはり同じ空間、同じ空気の中で響き合う声は人々の心を和ませ、自然と笑顔になり本当に楽しい大会となりました。

マスクが無いとお互いの感情がもっと伝わってくるはずですが。コロナの三年間のマスク生活で失ったものは多大了。

昨年十一月『世界を襲う「水ク

ライシス」気候変動異変の現場をゆく』という番組を見ました。私達仏婦は、美しい地球を子供達に残そうと頑張っています。世界各地で起こっている深刻な水不足。水道の蛇口を捻れば好きなだけ水が使える私達。記録的な干ばつの中国。農業用水をめぐり住民訴訟が起きているフランス。等々、気候変動による世界の異変はとても深刻です。

グリーンランドの氷山は一秒に一万トン溶けていて、海面上昇のスピードは年々速くなり、計算上では2150年に東京の海面は

気候変動

溶けた氷河

77センチ上昇するそうです。

しかしその一方で、溶けた氷河の下から様々な天然資源が採掘されていることから、この資源争奪戦がすでに始まっています。又、海が凍らなくなったお陰で漁に出かけられ漁獲量が増加し、

遊覧船が季節を問わず運行でき、生活水準は向上、人々の生活が豊かになっていくとの報告もあります。何事にも二面性があると言う事です。

又、他のニュースでは気候変動、地球温暖化の最大の原因は石油や石炭などの化学燃料の燃焼等によって排出される二酸化炭素であ

地球温暖化

戦争 燃炭艦艦

個の私、夫婦、家族、学校、社会、地域、国、世界、それぞれがそれぞれ悩みを抱え日々格闘している中で、地球という大きな星の中にいる私達は、その母体である地球を守らなければなりません。

どうなる地球！ どうする私達！ もう待ったはないのです。今自分達に出来ることをやっていく他は。

どうなる地球！

地球！

令和五年が皆様にとって幸多き歳になります様にお祈り申し上げます。 合掌

# 問

今こころを

おいて

どこへ行くこうと

するのか

愛知専門尼僧堂・特別尼僧堂堂長

青山俊董 老師



青山俊董◎あおやましゅんどう  
昭和8年、愛知県一宮市に生まれる。5歳の頃、長野県塩尻市の曹洞宗無量寺に入門。15歳で得度し、愛知専門尼僧堂に入り修行。その後、駒澤大学仏教学部、同大学院、曹洞宗教化研修所を経て、39年より愛知専門尼僧堂に勤務。51年、堂長に。59年より特別尼僧堂堂長および正法寺住職を兼ねる。現在、無量寺東堂も兼務。昭和54、62年、東西靈性交流の日本代表として訪欧、修道院生活を体験。昭和46、57年、平成23年インドを訪問。仏跡巡拝、並びにマザー・テレサの救済活動を体験。昭和59年、平成9、17年に訪米。アメリカ各地を巡回布教する。参禅指導、講演、執筆に活躍するほか、茶道、華道の教授としても禅の普及に努めている。

平成16年、女性では二人目の仏教伝道功労賞を受賞。21年、曹洞宗の僧階「大教師」に尼僧として初めて就任。明光寺(博多)僧堂師家。

## 第1講

# たった一度の命をどう生きるか—— お釈迦さまの仏法 生生世世修行、定年なし(1)

だいぶ前、三十代のはじめの頃、紀野一義先生と、あるテレビで二度ばかり対談いたしました。二度目の対談に入るとき、ディレクターが、「あの尼僧さん、何で出家したのか聞いてください」と。

と。紀野先生は、「わたしはそういうのはあまり聞きたくないけれど、しょうがない、聞いてくれと言っているので聞きますが……」

ということで質問された。わたしは、「すべての人がほんとうの幸せというものを、自分の命の最高の生き方、最後の落ち着き場所というものを、とことんまでつきつめて、そして、仏法が何を説くものかわかったら、十人が十人、坊さんになると思います」

とお答えした。わたしは、本気に、大真面目に答えました。

ところが、世間の人は、そういう返事はおもしろくないのですね。終わってから、ディレクターが「先生、うまいこと逃げましたね」というんですよ。世間の人は「好きな人と一緒になれなくて……」などという答えがほしいんですね(笑)。その程度では、坊さんにはなれません。そうお返事をいたしました。

わたしは十五歳で頭を剃りました。そのときの思いを詠ったのが、

くれないに 命もえんと  
みどりなす  
黒髪断ちて入りし道かも  
求め求めて、最高の道に命かけ

ようと、疑いなくこの道に入った。若さというものは欲張りなものでして、大学で十一年、遊んでおりました間、「仏教よりすばらしいものがあつたら、そっちへ行こうじゃないか」くらいの思いでキリスト教をかじってみたり、あの頃、五十年、六十年前、マルクス主義をかじってみたりとか、欲張りであつたわけです。

さいわいによき師に導かれながら、この道に入つて間もなく七十年になります。七十年、わたしなりに一筋に歩ませていただきましたが、ようやく入口に立つ、そんな思いです。

わたくしが親しくしていただいております松原泰道老師が、九十九歳のとき、「生涯修行、臨終定年」と書いたお手紙をいただ

きました。

わたしはもつと欲張つて、「生生世世修行、定年なし」、そんな思いでこの道を歩み続けさせていたきたい。一歩でも二歩でも三歩でも、深まらせていただきたいと、切に思っている今でございます。

みなさん方とご一緒にお唱えする言葉に、

人身受け難し 今すでに受く  
仏法聞き難し 今すでに聞く  
この身 今生において度せずんば  
さらにいづれの生においてか  
この身を度せん

というのがありますね(三歸依文)。このお言葉に参じてみましょう。

仏教では、草木も動物も人間も、命の重さにおいては絶対平等と説きます。

キリスト教の場合は、天地創造の神と創られたものと二つに分かれ、さらに創られたる万物にも序列があつて、万物の霊長として人間と、その人間のために創られたるものという序列があります。創り主と創られたるものというキ

リスト教のあり方を「契約の宗教」と呼んでいます。

仏教の場合は、そうではありません。

国立公園の父と呼ばれるアメリカのジョン・ミューアは、雪山の脈を六年も放浪し、天地の声を聞いた人といえましょう。そのジョン・ミューアの言葉に、「たった一輪のスマイレのために地球がまわり、風が吹き、雨が降る」というのがあります。

一輪のスマイレを咲かせるために、天地いっばいのお働きがある。同じ働きのをいただいて、今日のわたしのおしゃべりがあり、みなさんも聞いていただくことができます。

命の重さにおいては絶対平等、これが仏法でございますね。一輪のスマイレの重さも、米粒一つの重さも、葉っぱ一枚の重さも、犬猫の命の重さも、人の命の重さも、命の重さにおいては絶対平等でございます。しかしながら、授かつた働きに違いがある。

科学者の言葉を借りますと、鉱物は物質だけ。植物は物質プラス命、動物は物質プラス命プラス喜

び悲しみなどを認識する力を持っている。

人間だけが、最高の天地いっばいのお働きのをいただいて、今の命の営みがあるという、命の重さを自覚する働きの持っているというのです。

同じ働きのをいただいて一輪のスマイレが咲いても、同じ働きのをいただいて犬猫が飛んだり跳ねたりすることができても、草木や動物には、自覚はない。そういう大変な天地総力をあげてのお働きのをいただいて、しゃべることができると、だよ、聞くこともできるんだよ、一つひとつの命の営みはそういう大変なものなんだ、ということをお覚する働きのをいただいているのは人間だけだ、というのです。

しかし、そういう自覚する働きのを持った人間の命をいただいても、その命の尊さを説いてくださる教えに出会えなければ、気づくことができない。こんなに大変な命をいただいているんだよということをお説いてくださる教えに出会わなければ、気づくことはできない。

(次号に続く)



## BATOUKANNONSAMA



「ほとけさまのサイン」

編集・発行 天台宗出版室

浦井正明師：「阿弥陀さまはなぜ九ツもの印相を示しておられるのか。お不動さまはどうして怖い顔をして、剣などをお持ちなのか。本書はこうした疑問にお答えするために書いたものである。(中略) 仏さまは本来拝まれるために造られるのである。いいかえれば、私たちが仏さまに何を願い、仏さまはそれにどう応えてくださるのかということなのである。」

著者略歴

【浦井正明(うらいしょうみょう)】

昭和12年東京生まれ。天台宗僧侶。東叡山輪王寺門跡門主・寛永寺貫首。慶應義塾大学文学部史学科卒業。東叡山現龍院前住職。寛永寺執事長、台東区教育委員会委員長、台東区文化財保護審議会委員等を歴任。『もうひとつの徳川物語 將軍家霊廟の謎』等著書多数。



大仏師 山高龍雲作

ほとけ  
さまの  
サイン  
Sign

馬頭観音さまは、もともとはヒンドウ教のビシュヌ神の化身でした。インドの神話の中に、このビシュヌ神が、馬の姿に変身して、絶大な力を発揮したという話が在ったのを、仏教がとり入れたのだというのです。

しかし、それよりも、古代インドの理想の君主・転輪聖王が、その馬車(戦車)を駆使して四方を縦横無尽に平定したように、大悲の心と一切の魔障を摧く力を併せもつ観音さまだと考えた方がいいでしょう。

馬頭観音さまが、その名の通り、頭の上に馬の首を載せておられるのはこうしたことによるのです。

また、この観音さまは、慈悲に溢れたお顔が普通である観音さまたちの中に在って、唯一の例外として、すべてのお顔が大変怒ろしい表情をしておられます。このように忿怒の相(怒ったお顔)をしておられるのは、普通は不動明王や降三世明王など、いわゆる明王と呼ばれる仏さまの特徴です。

そんなわけで、時としては、この馬頭観音さまを馬頭明王とお呼びすることもあるのです。

でも、本当は優しい観音さまであることは、頭の所に阿弥陀如来さまがおいでになることを見ればわかります。

## 迷いを食べつくす

ところで、この観音さまは、いろいろな観音さまの中でも、特に慈悲のお心が深い観音さまだといわれています。

頭の上の馬頭は、ちょうど馬が草をむさぼり食べるように、私たちの迷い(煩惱)を食べ尽くして下さることを表わしているのです。

実は、怒ったお顔をしておられるのも、なかなかなくすことのできない、私たちの煩惱に対する怒りなのです。

ちょうど、親が、本当は子供に優しくしてあげたいのに、ときには我慢して、子供に厳しく当るのと同じだともいったらいいのでしょうか。

怒髪という、髪を逆立てるほどの強い怒りをもって、私たちの煩惱を打ち砕こうと、手には金剛棒(宝棒・左の第二手)や三鈷の戟斧・宝剣(右の第一・第二手)などを

お持ちになつておられるのです。

さらに、頭の上の馬は、正式には白馬で表わされますが、それは白が迷いの中に在っても失われることのない、私たちに本来具わった清浄な心(仏心)を表わしているからです。

また、時として青黒い色で表わされてもいますが、それは煩惱克服のための精進を意味しているのです。

## いろいろなお姿

馬頭観音さまのお姿は必ずしも一定してはいません。画像では首から上をすべて馬の姿に画いた例もありません。

浄瑠璃寺の場合は、火焰光を背にして立つ、四面八臂(お顔が四つで手が八本)の色鮮やかなお姿で、まさに「馬頭明王」というに相応しいお姿です。

他にも、一面や三面で二臂、四臂、六臂といったお像もありますが、一般的に三面八臂のお像が多いといつていいでしょう。

ところで、額の所に第二の眼がありますが、これは仏さまの眼です。この観音さまが、深い仏心をもって私たちに接して下さっていることがわかります。

さて、左の第一手の輪玉と右の第四手の念珠については、如意輪観音さまと同じです。

左右の第三手は、中央で結んでおられますが、これは馬頭観音さま独自の印です。また左の第四手は与願の印です。

その他、水瓶を持たれたり、施無畏の印を示しておられることもありますが、それらもすべて観音さまのお働きを表わしているのです。

なお、馬頭観音さまは、六道の内の畜生道の担当ともされたため、江戸の中頃からは、牛や馬などの守護仏とされて、主として中部以東において、多くの石仏が路傍や祠に祀られました。





第69回

公益  
社団法人

# 全日本仏教婦人連盟大会

第69回全日本仏教婦人連盟大会は、10月27日（木）真言宗智山派大本山川崎大師平間寺にて来賓、会員あわせて55名の参加をいただき開催されました。



第1部では、大本山川崎大師平間寺教務課長寺田信哉僧正様の法話で始まり、同貫首藤田隆乗大僧正様お導師のもと、世界平和祈念法要がとり行われました。続いて御貫首様よりご挨拶をいただき、全日本仏教婦人連盟より大本山川崎大師平間寺様に御志納の目録を贈呈いたしました。

第2部は、大本山川崎大師平間寺法務課長伊藤堯仙僧正様による法楽で始まり、参加者も共に読経をいたしました。

東伏見具子会長の挨拶に続き来賓の全日本仏教会理事長代理和多善秀師の祝辞を賜り、その後国際仏教興隆協会理事長中村康雅師よりインド・ブツダガヤ報告をいただき国際仏教興隆協



照師の乾杯の発声で懇親会が開始され、お食事や交流の合間に今回の清興、箏の吉澤延隆氏と尺八の川村葵山氏の素晴らしい演奏を楽しましました。

恒例の募金のご協力と販売された海産物等の売り上げを合わせてウクライナから日本にきている高校生への支援金として全国青少年教化協議会様と各地被災地への支援金として被災地NGO協働センター様へ贈呈いたしました。

最後に花岡眞理子理事長が謝辞を述べ、和やかな雰囲気の中に無事に閉会いたしました。

会に対し、全日本仏教婦人連盟より光明施療院の活動の菩提樹学園の園児と母親の母子衛生教育を支援することを目的に、金350万円を寄付する旨の目録を贈呈いたしました。  
日本仏教保育協会理事長高山久

静岡仏教婦人会の方々が仏婦の歌を歌ってください、会員参加者来賓の皆様も一緒に合唱して久しぶりに歌を通して心が温まるひとときを共有して、正に「私たちはつどいの力を信じて働きましょう」の信条を確認できた大会となりました。

外を問わず大きな社会環境変化の中で先き行きの見えない不安な日々を送っています。

同様に仏教界を取り巻く状況も難しい時代を迎えておりますが、全日本仏教会は、加盟いただいている全国約7万5千有余の寺院が宗派の垣根を越えて団結し、様々な問題に取り組むことができますよう今後とも、更なる精進をさせて頂く所存でございます。

厳しい状況下ではありますが、変わらぬご指導とご鞭撻をお願い申し上げますと共に、全日本仏教婦人連盟様の益々のご発展と本日ご参集の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。お祝いの言葉といたします。

本日は誠にありがとうございます。合掌

代読 総務部長 和多善秀



ございます。国内外における諸問題に関する提言と発信、災害における人道支援、仏教文化の振興等、多くの責務を担っており、全日本仏教婦人連盟様には、日頃より本会の活動にご理解いただき、社会および家庭生活の中で培われた仏教精神を基調とし、社会福祉への貢献や世界平和の推進にご協力をいただいております。

わたくしたちは現在、国内



①日本仏教保育協会理事長高山久照師 ②国際仏教興隆協会理事長中村康雅師 ③静岡仏教婦人会の先導で ④箏の吉澤延隆氏と尺八の川村葵山氏

## 祝辞

公益財団法人全日本仏教会  
理事長 里雄康意

先ずはじめに、新型コロナウイルス感染症の影響により昨年、一昨年はやむなく中止となりましたが、この度は第69回公益社団法人全日本仏教婦人連盟大会が無事に開催されましたことに心よりお慶び申し上げます。

公益社団法人全日本仏教婦人連盟様におかれましては、日頃より私ども全日本仏教会の活動に対し、深いご理解とご協力を賜っております事に、まづもって御礼を申し上げます。

ご高承のとおり、わたくしども全日本仏教会は、日本の伝統仏教教団59宗派、37都道府県仏教会、そして9の仏教団体によって構成される連合組織で



# 地球は昔に

# 戻れるのだろうか

浄土宗長福寺住職  
 帝京大学客員教授  
**窪川香薫**

## 身近な海

地球環境に私たちの生活は依存していることを忘れがちです。地球は、太古の昔から寒冷化と温暖化を繰り返してきましたが、1850年代を境に世界の平均気温が上昇し、今では、過去10万年間の最高温度の時期より高くなりつつあります。また、海洋プラスチックごみが問題になっていきます。魚やカメがプラスチックを食べて死んでしまうので、海にゴミを捨ててはいけません。子ども達も知っています。ここでは、海で起きているこのような問題を考えます。



全日本仏教婦人連盟の第124回文化講座「いのちの共生を考える」で、地球が抱える問題について海を中心にお話しする機会をいただきました。2020年にスタートした「子どもたちに豊かな地球をつなぐキャンペーン」の一環で、同連盟、全国青少年教化協議会、日本仏教保育協会の共催でした。コロナ禍の中、会場にご足労いただいた皆様に感謝いたします。私たちの生きる環境が安全に、そして子どもたちの未来を守るように、共に考える機会になればと願いつつ、同じタイトルで筆を取らせていただきました。

万葉集には、海に因み詠まれた歌が4500余首もあります。海の情景は昔から心に響きます。また、海流は豊かな水産物をもたらし、漁業が発達し、海や魚の文化が開きまわりました。今では日本の輸出入量の97%が海運に依存しています。海と人とのかわりは枚挙に暇ありませんが、近年は巨大津波や海洋汚染の甚大な被害、埋め立てや港湾整備での景観変化、海洋ごみ、そして水産業の衰退など問題が山積みです。

## 温暖化の進行と海

国連は2015年に17の目標からなるSDGs(持続可能な開発目標)を掲げました。環境、社会、経済にまたがるこれらの目標から誰一人取り残さないことを根底に2030年までの達成を目指します。その14番目のSDG14は「海の豊かさを守ろう」です。SDGsには環境問題が多いのですが、その中でも温暖化は深刻です。

2021年、眞鍋淑郎博士が「地球の物理的な気候モデリング、変動性の定量化、温暖化の信頼に足る予測」によりノーベル賞を受賞されました。1967年に温暖化の将来予

測モデルを科学的に証明され、温暖化の危機こそ人類の危機であると世界に警鐘を鳴らしてこられました。文化勲章を受勲された折には「日本では大雨の頻度が増して大洪水や崖崩れになることが最大の問題である。」と述べられています。温暖化は、海水温の上昇による台風の強化や線状降雨帯による豪雨の主因ですが、水産物も海水温の上昇の影響を受けます。マサバの産卵場は本州太平洋沿岸を年々北上し、コンブやワカメは2100年には日本で採れなくなるでしょう。

温暖化は二酸化炭素などの温室効果ガスの蓄積により起きます。二酸化炭素は、石炭・石油といった化石燃料の使用、開発や木材消費による森林の激減などで大気中の濃度が上昇しました。1760年代に始まる産業革命で化石燃料が使われ始めて、豊かで便利な社会生活を追い求め、その恩恵を享受してきました。その裏で二酸化炭素が地球温暖化を進めていたのです。専門家は、21世紀中に世界平均気温の上昇が1.5℃以下に抑えられれば、温暖化は落ち着くと予測しています。しかし、温暖化対策をしなければ、日本では、少なくとも、熱中症患者が激増し、農作物は高温被害に晒され、

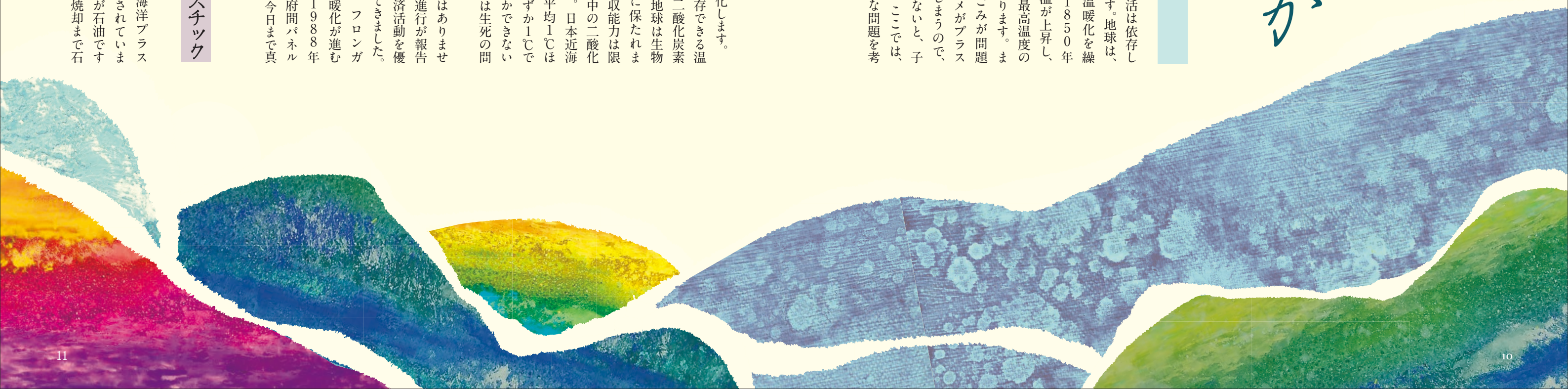
台風や豪雨はさらに強化されます。

海は、地球を生物が生存できる温暖な惑星にしています。二酸化炭素の多くは海に吸収され、地球は生物が生きていられる温度に保たれます。しかし、今、海の吸収能力は限界を超えつつあり、大気中の二酸化炭素は増え続けています。日本近海の海水温は100年で平均1℃ほど上昇する予測です。わずか1℃でも、不完全な体温調節しかできない多くの海の生物にとっては生死の問題です。

温暖化の脅威は突然ではありません。1930年代にその進行が報告されましたが、社会は経済活動を優先し、温暖化を棚上げしてきました。1980年代になって、フロンガスがオゾン層を破壊し温暖化が進むとされて関心が高まり、1988年には気候変動に関する政府間パネル(IPCC)が設立され、今日まで真剣に議論されています。

## 温暖化と海洋プラスチック

現在、二酸化炭素と海洋プラスチックごみの関係が注目されています。プラスチックの原料が石油です。製造過程から廃棄の焼却まで石







→土砂の撤去作業

最初に、この場をお借りして全日本仏教婦人連盟のみなさま方には、阪神・淡路大震災から27年にわたり多大なるご支援を頂き心から感謝を申し上げます。

例えば、1997年神戸市須磨区



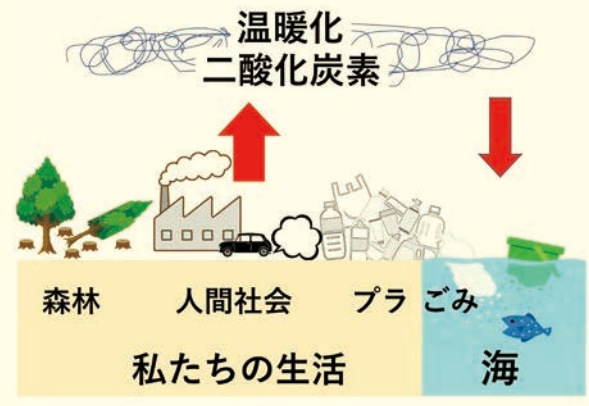
まけないぞうへの思いと災害支援

まけないぞう

一本のタオル運動

にある須磨寺で執り行われた阪神・淡路大震災犠牲者3回忌法要の会場でチャリティバイザーに招待して頂き、当時の事務局長林恵智子様にお会いしたことがきっかけです。まけないぞうも偶然その年に生まれ、被災者の生きがい支援活動として始まりました。震災から1年、2年と時間の経過とともに世の中の関心も薄れ、まけないぞうの販売が滞る中、貴連盟の各寺院様よりご支援を頂き、多い月で1万頭も売れたことがあり、あの時のみなさまの支えがなければ、正直まけないぞうがいまもこうして続けられていたかどうかわかりません。また、まけないぞうの材料となるタオル集め「一本のタオル運動」を事業の一つに掲げて頂き、これまでにたくさんの方のタオルを被災地に届けることができました。

まけないぞうの大きな役割は3つあります。仕事、コミュニケーション、生きがいづくりです。支援者の方から、「病気にまけないぞうって病室に飾っておきます」などのメッセージが届くようになり、被災者である作り手さんも「やっとあの時の恩返しができる」「私も人のお役に立つことができるのね」とお互いに支え合える関係になったのです。それが被災者の生きる希望につ



油を使います。また、廃棄プラスチックの中から海洋プラスチックごみが生まれます。海洋には、海洋ごみが集積する場所があり、日本は太平洋ごみベルトと呼ばれる集積の西端にある集積場所です。海岸の海洋ごみ拾いでは回収できないマイクロプラスチック（プラスチックの小破片）も日本沿岸に集積しています。

海洋プラスチックごみには、レジ袋や漁網などの大きなごみから、風化で破壊され、数ミリサイズ、さらに顕微鏡でしか見えないサイズになったものまであります。しかも、有人深海調査艇「しんかい6500」による調査は、房総半島の東沖の深海5700mで36年前のハンバー

海洋プラスチックごみとこれからの生活

マイクロプラスチックは、海洋生物が食べても排泄されます。排泄されればひと安心です。懸念は、過去に大量使用され海中に残存しているPCBやDDTなどの有害化学物質がプラスチックに吸着することです。プラスチックに含まれる添加剤も基準値以下の低濃度ですが有害化学物質です。

日本では、プラスチックごみのリサイクルは全体の約84%ですが、半分以上は焼却による熱源へのリサイクルです。焼却では二酸化炭素の排出も問題になりますが、プラスチックは種類が多いので、新たな製品へ

グの袋や多くのプラスチックの破片を発見しました。集積場所は深海に及び、大量に溜まっています。すべての回収は不可能でしょう。

しかしプラスチックは夢の素材で、まったく使わない生活は不可能です。2050年には海洋プラスチックごみは約10億トンとなり、すべての魚の重量8億トンより重くなる試算もあります。智慧を絞る時です。

自然との共生

今、世界は、自然との共生を仮想空間に作り出そうとしています。自分が自然の中に生かされていることに気付く方が大切だと思います。海とプラスチックごみの問題は、経済社会が優先され過ぎると人間生活が失われる危険があると警告していると思います。それ故に、SDGsは、全世界の人々が協力して、誰一人取り残さず将来を持続可能にすることを目標にしています。この目標が、自然と共生する意味を真剣に考

のリサイクル方法は開発途上です。せめて個人レベルで出来ることは、減らす(Reduce)、繰り返し使う(Reuse)、断る(Refuse)、修理する(Repair)、考え直す(Rethink)、リサイクル(Recycle)でしょう。

温暖化による豪雨や台風の強大化により、陸上のプラスチックごみは海に流出する機会も増えています。それらの破片は排水溝や川を通じて海に出ます。環境問題はあらゆるところで繋がるので厄介ですが、逆に小さな1か所でも改善すれば全体の改善につながる希望も見えます。



ながってきたのです。東日本大震災から10年目、作り手さんが避難所から11年間作り続けてきたまけないぞうのお金を貯めて、仮設から再建した家に記念になるものをと高価な「岩谷堂筆筒」を購入し、一生の宝物として大切に下さっています。

阪神・淡路大震災から27年、昨今は各地で災害が立て続けに発生しています。ここ数年はコロナ禍によりボランティアが激減し、救えるはずの被災者が取りこぼされています。神戸大学名誉教授岸田健太郎は「我々の民主主義では、最後の一人はどうしても切り捨てられる。だが、最後の一人とい

う言葉には我々は特別な思いをもっている。1995年の、あの1月17日、身を切る寒い闇の中の救出作業後、その後の壊れた建物の中からの救出でも、最後の一人が助け出されるまで、我々は必死に祈り、助け出されて安堵した。その最後の一人の重さである」(1997年12月27日神戸新聞)と述べています。みなさんも同じように亡くなった方々を悼んでおられることと思います。

被災地で出会ったひとり一人がその最後の一人だと思いがら、私たちはこれからも支援活動を行ってきたいです。

増島智子のつぶやき

11月22日、岩手県遠野市のまけないぞうの作り手さんに会いに行きました。

いつも、通っている方なのですが、「震災からいろんな方に助けられてね」という話をしていた時に、「うちに、寂光院さんの観音様の色紙があつてね。それに守られてるんだよ!」とおっしゃったのです!

「えーそれは、こちらでお届けした色紙ですよ」とお伝えしたのですが、もうビックリです。

そのご夫婦は、釜石で被災し、お二人とも遠野の出身で、津波で自宅を流され、遠野の仮設に入居されました。その時に、そちら(貴連盟)から頂いた寂光院さんの色紙をお渡ししたのでした。

そのご夫婦は、その色紙をもらったあとに、わざわざ京都までお参りに行かれたそうで、いまも、寝室のお部屋に大切に飾ってありました。当時は無我夢中でお互いに認識がなかったのですが、11年経って、やっとつながりました。これも、観音様のお導きかと。。。ありがとうございました。





# あおぞら奨学基金



皆様のあたたかいご支援が

## こんなにも役立っています!

全国青少年教化協議会との共同事業で、東日本大震災（平成23年・2011年）で被災した進学や就職を希望している高校生の授業以外に、必要な学習費用を1年12万円（1か月1万円）支給してきました。当連盟では現在6名の高校生を支援しています。これまでに25名の生徒が卒業し、社会で活躍しています。今年度から新たに2名の生徒さんが加わり、昨年8月に計6名のお便りが届きましたのでご紹介いたします。

**1 1年男子** 今回はあおぞら奨学生に採用していただき大変感謝しております。私は、将来の夢に向けて、今の高校に進学しました。いただいた奨学金は、教材や参考書などに使わせていただきたいと思います。あおぞら奨学生として、恥じないように将来へ向け、挫折することなく勉学に励んでいきたいと思えます。

**2 1年女子** この度は、奨学金のご支援をいただけることに心より感謝申し上げます。父子家庭で経済的にも辛いことがありました。高校に

通う際の定期券のお金等、自分達では補いきれないと気負いすることもありました。ですが、奨学生採用の報告があった時、少し肩の荷が下りた感じがしました。しかし、ご支援いただきけるからと言って自分のやるべきことを拱手することなく、勉学ともにアルバイトも両立し、少しでも親孝行できるように励行します。

**3 2年男子** 1年生の時よりもできることが増え、友達ともさらに仲がよくなりました。バスケットボール部での活動は4月から新しい1年生が入部してとても楽しいです。また部長にもなったので責任を持って役割を果たしたいと思えます。一年秋から始めた生徒会活動も引き続き務める予定で、3年生が引退したら、いよいよ自分たちの代になります。これからある公開文化祭に向けて力を尽くしたいです。高校生活も半分が過ぎましたが悔いの残らないように何事も一生懸命がんばります。

**4 2年女子** 奨学金をいただいたことで、学業に専念することができ、以前より一層深い学びができていと感じています。ご支援いただいたことに恥じぬよう最後まで真面目に学生生活を送り、私生活を自立したものにできるよう努力致します。

私は部活を6月に引退し、大学進学に向けて、いただいたお金を使って参考書や文房具などを買っています。私は今、将来の夢である気象予報士を目指して志望校を決めて、日々勉強に励んでいます。目指す目標は気象予報士ですが、まずは大学進学に向けて頑張りたいです。受験まで約半年となり、勉強のことで、後悔していることもありませんが、もう後ろを振り返る余裕はありません。まずは受験で最大のパフォーマンスを発揮できるように、日々コツコツと努力を積み重ねて大学合格できるように頑張りたいと思えます。

**5 3年男子**

**6 3年女子** 3年生になり部活動も5月末に引退し、平常課外活動、休日課外活動が始まりました。私の現時点での進路希望は埼玉県内の外国語学部の英語学科です。推薦で受験したいと考えているため、夏が勝負となつてきます。今年の夏休みにもオープンキャンパスに行くことを考えているため、モチベーションをあげて頑張りたいです。次のお便りでは、英検2級の合格と大学の合格を報告します。それまで勉強を一生懸命頑張ります。



## お写経のすすめ

Shakyo no Susume

### Check!

光明施療院での活動や  
子ども達の様子(2022年)はコチラから↓



インド・ブツダガヤの「日本寺」境内にある光明施療院は、現在母子保健衛生教育のための施設となり、写経の奉納金はこの運営資金の一部になります。この写経運動は当連盟にとつて1981年から現在まで継続している大切な基本事業です。現在の光明施療院の報告をご覧ください。そしてぜひ写経運動にご協力をお願い致します。

## ご報告

### 「光明施療院、園児の健康管理」

光明施療院は現在、菩提樹学園の園児たちへの「保健衛生」の指導や「健康管理」を中心とし、更には地域の公衆衛生向上のための活動に力を入れています。その中でも菩提樹学園での栄養バランスを考えた給食やビタミン剤の投与は、成長期の園児たちにとって大きな役割を果たしております。インドの目まぐるしい経済成長が世界から注目を浴びる中、ブツダガヤではその恩恵を受けている家庭は少なく、今でも家庭で満足に栄養を摂取出来ていない子ばかりです。光明施療院はその対応策として、骨や歯、筋肉など丈夫な身体づくりに関わる総合ビタミン剤とビタミンAD(肝油)、カルシウム錠剤などを提供していま

す。給食時に先生が園児たち一人ひとりに投与して、様々な理由から不足しがちな栄養を補い、子供たちの健やかな成長をサポートしております。

子どもたちの栄養失調防止の為に今後とも皆さまからの温かいご支援を賜りたく、協会一同心よりお願い申し上げます。

(公財) 国際仏教興隆協会事務局



## 問合せ先

(公社) 全日本仏教婦人連盟

☎ 151-0051  
東京都渋谷区千駄ヶ谷4-5-10-205  
【TEL】 03-5772-0677 【FAX】 03-6434-0184  
【URL】 <http://jbwf.jp> 【MAIL】 [info@jbwf.jp](mailto:info@jbwf.jp)

奉納金は一巻につき般若心経1000円、舎利礼文・十句観音経各500円をお願いいたします。

- 般若心経
  - 舎利礼文
  - 十句観音経
- 写経用紙は左記の3種類を用意しております。必要枚数をお申し込みください。(ホームページからも印刷できます。)



# 新年賀謹

癸卯 令和五年

<p>公益社団法人 日本仏教保育協会</p> <p>理事長 高山 久照</p> <p>〒一〇五一〇〇一一 東京都港区芝公園四一七四 ☎〇三三四三二一七四七五</p>	<p>公益財団法人 仏教伝道協会</p> <p>会長 木村 清孝 理事長 桂 紹隆 常務理事 青木 晴美 理事 門脇 邦彦 同 野村 邦武</p> <p>〒一〇八一〇〇一四 東京都港区芝四一三一四 ☎〇三三四五五一五八五一 URL: <a href="https://www.fdk.or.jp">https://www.fdk.or.jp</a></p>	<p>全日本仏教青年会</p> <p>理事長 西郊 良貴</p> <p>【事務局】〒三五二一〇〇一六 蓮光寺内 埼玉県新座市馬場一九一三 ☎〇四八四七八一五六七一</p>	<p>全日本仏教尼僧法団</p> <p>総裁 鷹司 誓玉 副総裁 日野西光尊 顧問 青山 俊董</p> <p>〒一六〇一〇〇二二 東京都新宿区新宿六一五一一二 西光庵内 ☎〇三三三三〇〇一七八一一</p>
<p>一般社団法人 仏教情報センター</p> <p>理事長 白川 淳敬</p> <p>〒一三三〇〇三三 東京都文京区本郷一四一六一二〇二 ☎〇三三三八一三三六五七七 FAX 〇三三三八一三三六七九四</p>	<p>公益社団法人 シヤンタイ国際ボランティア会</p> <p>会長 若林 恭英</p> <p>〒一六〇一〇〇一五 東京都新宿区大京町三三 慈母会館二二階 ☎〇三三三五六〇一一三三三</p>	<p>公益財団法人 全国青少年教化協議会</p> <p>専務理事 齋藤 昭俊</p> <p>〒三二八一〇二〇五 栃木県鍋山町四七 宝蓮寺 ☎〇二八二二二二一〇四五二</p>	<p>子ども支援ネットワーク 公益財団法人 全国青少年教化協議会</p> <p>〒一〇四一〇〇四五 東京都中央区築地三二七五 築地Aビル五F ☎〇三三三三四一〇六七二五</p>
<p>被災地NGO協働センター CODE海外災害援助市民センター</p> <p>理事 村井 雅清</p> <p>〒六五二一〇八〇一 兵庫県神戸市兵庫区中道通二一七一〇 ☎〇七八一五七四一〇七〇一 FAX 〇七八一五七四一〇七〇二</p>	<p>一般社団法人 日本仏教鑽仰会</p> <p>代表理事 中山 斉栄</p> <p>〒一七四一〇〇七一 東京都板橋区舟渡四一五一一 ☎FAX 〇三三三九六七三二二八八</p>	<p>世界連邦日本宗教委員会</p> <p>会長 田中 恆清</p> <p>〒六一四一八五八八 京都府八幡市八幡高坊三〇 石清水八幡宮内 ☎FAX 〇七五九八一三〇〇一</p>	<p>公益財団法人 国際仏教興隆協会</p> <p>日本寺管主 北河 原公敬 理事長 中村 康雅 事務局長 佐藤 雅彦 役員 藤 一彦 同 同</p> <p>〒一五三〇〇六一 東京都目黒区中目黒五二四一五三 ☎〇三三三三三三三三三三三三三三 FAX 〇三三三三三三三三三三三三三三 E-mail: <a href="mailto:jimukyo@ihba.jp">jimukyo@ihba.jp</a></p>

〈順不同〉

# 新年賀謹

癸卯 令和五年

<p>日蓮宗宗務院</p> <p>宗務総長 田中 恵紳</p> <p>〒一四六一八五四四 東京都大田区池上二一三三一五 ☎〇三三三三三三三三三三三三三三 FAX 〇三三三三三三三三三三三三三三 URL: <a href="https://www.ndhonen.or.jp">https://www.ndhonen.or.jp</a></p>	<p>浄土宗</p> <p>宗務総長 川中 光教</p> <p>〒六〇五一〇〇六二 京都市東山区林下町四〇〇一八 ☎〇七五二五二五二二二〇〇代</p>	<p>曹洞宗宗務院</p> <p>管長 石附 周行</p> <p>宗務総長 服部 秀世 参議 熊谷 紘全 参議 渡邊 義弘 総務部長 松原 道一</p> <p>〒一〇八四四 東京都港区芝一五一一 ☎〇三三三四五五五五五五五五五五 URL: <a href="https://www.sototou-net.or.jp">https://www.sototou-net.or.jp</a></p>	<p>公益財団法人 全日本仏教会</p> <p>会長 大谷 暢裕 理事長 里雄 康意</p> <p>〒一〇五〇〇二 東京都港区芝公園四一七一一五 ☎〇三三四三三七一九二七五 URL: <a href="http://www.jbl.or.jp">http://www.jbl.or.jp</a> E-mail: <a href="mailto:info@jbl.or.jp">info@jbl.or.jp</a></p>
<p>東京都仏教連合会</p> <p>会長 山田 一眞 理事長 新美 昌道</p> <p>〒一一一〇〇三六 涼源寺内 東京都台東区松が谷二一九一七 ☎〇三三三三四四一九五九七</p>	<p>真言宗豊山派宗務所</p> <p>宗務総長 鈴木 常英</p> <p>〒一一二〇〇二二 東京都文京区大塚五一四〇一八 ☎〇三三三三三三三三三三三三三三 FAX 〇三三三三三三三三三三三三三三</p>	<p>真言宗智山派宗務院</p> <p>宗務総長 芙蓉 良英</p> <p>〒六〇五一〇九五 京都市東山区東大路通り七条下ル 東瓦町九六四 ☎〇七五二五五五五五五五五五五五</p>	<p>天台宗</p> <p>宗務総長 阿部 昌宏</p> <p>〒五二〇一〇一三 滋賀県大津市坂本四一六一二 ☎〇七七二五七九一〇〇二二</p>
<p>大阪府佛教会</p> <p>会長 村上 廣甫 事務局 二上 寛弘</p> <p>【事務局】〒五五二一〇〇二二 大阪府港区築港二一三三三 釈迦院内 ☎〇六六五七一五七一〇</p>	<p>一般財団法人 埼玉県佛教会</p> <p>会長 倉持 秀裕</p> <p>〒三三〇〇〇六三 さいたま市浦和区高砂四一三三一一八 ☎〇四八八六一二二二二二二二二二</p>	<p>愛知県仏教会</p> <p>会長 岩木 涼山</p> <p>【事務局】〒四七〇一〇〇三 祐蔵寺内 豊田市幸町寺前六八 ☎FAX 〇五六五五五五五五五五五五五五</p>	<p>一般財団法人 京都仏教会</p> <p>理事長 有馬 頼底 事務局 長 沢 香静</p> <p>〒六〇二一〇八九 京都市上京区今出川通烏丸東入 相國寺門前町六三六一一 ☎〇七五二二二二二二二二二二二二二二</p>

〈順不同〉



# 謹賀新年

令和五年 癸卯

浄土真宗東本願寺派 本山 東本願寺 法主 大谷光見 〒一一一〇〇三五 東京都台東区西浅草一五十五 ☎〇三三八四三九九五一	真言宗智山派 大本山 成田山新勝寺 貫首 岸田照泰 〒二八六一〇二三 千葉県成田市成田一番地 ☎〇四七六一三二二二二	大雄山 最乗寺 山主 増田友厚 〒三五〇三七 神奈川県南足柄市大雄町一五七 ☎〇四六五一七四三二二 FAX〇四六五一七三三二四六
曹洞宗大本山 永平寺 貫首 南澤道人 〒九一〇一一二九四 福井県吉田郡永平寺町志比 ☎〇七七六一六三三二〇二	真言宗智山派 大本山 孝道山本仏殿 宗教法人 念法眞教 総本山 小倉山 金剛寺 〒五三八一〇五四 大阪府鶴見区緑三丁目四番二号	日蓮宗 大本山 池上本門寺 貫首 菅野日彰 執事長 木内隆志 〒一四六八五七 東京都大田区池上一一一一 ☎〇三三三三三三三三三三 FAX〇三三三三三三三三三三
真言宗智山派 大本山 川崎大師平間寺 貫首 藤田隆乗 〒二二〇一〇六三 神奈川県横浜市鶴見区鶴見二一一一 ☎〇四五五八一一六〇二二	善光寺本坊大勧進 貫主 栢木寛照 〒二二一〇〇六四 神奈川県横浜市神奈川区鳥越三八番地 ☎〇四五四三三二二二〇一(代)	京都 音羽山清水寺 貫主 森清範 〒六五四一〇七 兵庫県神戸市須磨区須磨寺町四一六一八 ☎〇七八一七三二一〇四一六
浄土宗大本山 増上寺 法主 小澤憲珠 〒一〇五一〇〇一 東京都港区芝公園四一七三三五 ☎〇三三三三三三三三三三	日光山 輪王寺門跡 門主 石塚慈雄 〒三二一一四九四 栃木県日光市内三三〇〇 ☎〇二八八一五四一〇五三一	聖観音宗 浅草寺 貫首 田中昭徳 〒一一一〇〇三二 東京都台東区浅草二一三三一 ☎〇三三三三三三三三三三(代)

〈順不同〉

# 謹賀新年

令和五年 癸卯

本山修験宗総本山 聖護院門跡 門主 宮城泰年 〒六〇六一八三二四 京都市左京区聖護院中町一五 ☎〇七五七七一一八八〇	天台宗 三千院門跡 門主 小堀光實 〒六〇一一二四二 京都市左京区大原来迎院町五四〇 ☎〇七五七七四四二五三一 FAX〇七五七七四四二四八〇	浄土宗大本山 善光寺大本願 法主 鷹司誓玉 〒三八〇一〇八五一 長野市元善町五〇〇 ☎〇二六二三四一〇一八八 FAX〇二六二三四一〇一八六
天台宗 妙法院門跡 門主 杉谷義純 〒六〇五一九三二 京都市東山区東山七条上ル ☎〇七五五六一一〇四六七 FAX〇七五五六一一六六九八	天台宗 青蓮院門跡 門主 東伏見慈晃 〒六〇五一〇三三 京都市東山区粟田口三条坊町六九一 ☎〇七五五六一一三三四五	法興山 中宮寺 門跡 日野西光尊 〒六三六一〇一一 奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺北一一一二 ☎〇七四五一七五二一〇六 FAX〇七四五二九四二九五六
浄土宗総本山 知恩院門跡 浄土門主 伊藤唯眞 〒六〇五一八六八六 京都市東山区林下町四〇〇 ☎〇七五五三二二二二二	大本山 護國寺 門跡 萩原道秀 〒一一二一〇〇一一 東京都文京区大塚五丁目四〇番一 ☎〇三三三三三三三三三三(代)	山村御殿 圓照寺 門跡 萩原道秀 〒六三〇一八四三四 奈良県奈良市山町一三二二 ☎〇七四二一六一一七六〇〇
浄土宗大本山 増上寺 法主 小澤憲珠 〒一〇五一〇〇一 東京都港区芝公園四一七三三五 ☎〇三三三三三三三三三三	日光山 輪王寺門跡 門主 石塚慈雄 〒三二一一四九四 栃木県日光市内三三〇〇 ☎〇二八八一五四一〇五三一	聖観音宗 浅草寺 貫首 田中昭徳 〒一一一〇〇三二 東京都台東区浅草二一三三一 ☎〇三三三三三三三三三三(代)

〈順不同〉



# 謹賀新年

令和五年 癸卯

<p>真言宗御室派 管長 瀨川大秀 宗務総長 大林實温 〒六六一八〇九二 京都市右京区御室大内三三 ☎〇七五一四六一一一一五五 FAX 〇七五一四六四一四〇七〇</p>	<p>真言宗智山派 大本山 高尾山薬王院 貫首 佐藤秀仁 〒一九三三八八六 東京都八王子市高尾町二七七 ☎〇四二六六一一一一五 FAX 〇四二六六一一一一五</p>	<p>真言宗智山派別格本山 高幡不動尊金剛寺 貫主 杉田純一 〒一九一〇〇三二 東京都日野市高幡七三三 ☎〇四一五九一一〇〇三二</p>	<p>真言宗中山寺派 大本山 中山寺 貫主 麻生諦善 〒一六五八八八 兵庫県宝塚市中山寺二丁目一一一 ☎〇七七七一八七一一〇〇二四</p>
<p>真言宗室生寺派 龍光寺 真言宗室生寺派 管長 室生寺座主 下村聖登 〒一六八〇〇六三 東京都杉並区和泉三十八一三九 ☎〇三三三三一一一六九六 FAX 〇三三三三一一一五九八</p>	<p>真言宗智山派 上品蓮台寺 住職 高井隆成 〒六〇三三八三〇三 京都市北区紫野十二坊町三三一一 ☎〇七五十四六一一一三三九</p>	<p>真言宗智山派 田無山總持寺 住職 小峰立丸 〒一八八〇〇一一 東京都西東京市田無町三十八一一二 ☎〇四二一四六一〇〇四四</p>	<p>別格本山 大須観音寶生院 貫主 岡部快圓 〒四六〇〇〇一一 名古屋市中区大須二二一四七 ☎〇五二一三三一一六五二五 FAX 〇五二一三三一一九三三三</p>
<p>天台真盛宗 総本山 西教寺 〒五二〇一〇一三 滋賀県大津市坂本五丁目一三一 ☎〇七七五七八一〇〇二三代</p>	<p>日蓮宗本山 大坊本行寺 貫首 中野日演 〒一四六一〇〇八二 東京都大田区池上二一〇一五 ☎〇三三三三五二一〇一五五 FAX 〇三三三三五三一一〇一一</p>	<p>安国寺専門僧堂 堂長 高階玉光 〒八一〇〇〇〇一 福岡県福岡市中央区天神四一四一四 ☎〇九二一四七一一二七七〇 FAX 〇九二一四七一一二七七九</p>	<p>宗教法人 傳通院 貫主 麻生諦善 〒一一二〇〇〇二 東京都文京区小石川三一四一六 ☎〇三三三八一四一三七〇一</p>
<p>秋葉總本殿可睡齋 齋主 采川道昭 〒四三七一〇〇六一 静岡県袋井市久能二九一五一 ☎〇五三八一四二二二二 FAX 〇五三八一四二二二二</p>	<p>西新井大師 總持寺 貫首 濱野堅真 〒一二三三〇八四一 東京都足立区西新井一一一五一 ☎〇三三三八九〇一三四五</p>	<p>聖観音宗 浅草寺 執事長 守山雄順 〒一一一〇〇三二 東京都台東区浅草二一三一 ☎〇三三三八四二一〇一八一代</p>	<p>法華宗(陣門流) 宗務総長 西山英仁 〒一七〇〇〇〇二 東京都豊島区果嶋五三三五六 ☎〇三三三九一八一七二九〇 FAX 〇三三三五七六一〇一一</p>
<p>天台宗 三徳山三佛寺 住職 米田良中 〒六八二一〇一三二 鳥取県東伯郡三朝町三徳一〇一〇 ☎〇八五八一四三一一二六六六</p>	<p>神田寺 真理舎 住職 友松浩志 〒一〇一〇〇二二 東京都千代田区外神田三十四一〇 ☎〇三三三三二五一一八六八三</p>	<p>浄土宗 梅窓院 住職 中島真成 〒一〇七一〇〇六二 東京都港区南青山二二二六一三八 ☎〇三三三三三〇四一八四四七 URL: <a href="http://www.hatsuin.or.jp/">http://www.hatsuin.or.jp/</a></p>	<p>浄土宗 長専院 〒一三五〇〇二二 東京都江東区三好一六一三 ☎〇三三三三三三三三三三三三三</p>

〈順不同〉

# 謹賀新年

令和五年 癸卯

<p>真言宗御室派 管長 瀨川大秀 宗務総長 大林實温 〒六六一八〇九二 京都市右京区御室大内三三 ☎〇七五一四六一一一一五五 FAX 〇七五一四六四一四〇七〇</p>	<p>真言宗智山派 大本山 高尾山薬王院 貫首 佐藤秀仁 〒一九三三八八六 東京都八王子市高尾町二七七 ☎〇四二六六一一一一五 FAX 〇四二六六一一一一五</p>	<p>真言宗智山派別格本山 高幡不動尊金剛寺 貫主 杉田純一 〒一九一〇〇三二 東京都日野市高幡七三三 ☎〇四一五九一一〇〇三二</p>	<p>真言宗中山寺派 大本山 中山寺 貫主 麻生諦善 〒一六五八八八 兵庫県宝塚市中山寺二丁目一一一 ☎〇七七七一八七一一〇〇二四</p>
<p>真言宗室生寺派 龍光寺 真言宗室生寺派 管長 室生寺座主 下村聖登 〒一六八〇〇六三 東京都杉並区和泉三十八一三九 ☎〇三三三三一一一六九六 FAX 〇三三三三一一一五九八</p>	<p>真言宗智山派 上品蓮台寺 住職 高井隆成 〒六〇三三八三〇三 京都市北区紫野十二坊町三三一一 ☎〇七五十四六一一一三三九</p>	<p>真言宗智山派 田無山總持寺 住職 小峰立丸 〒一八八〇〇一一 東京都西東京市田無町三十八一一二 ☎〇四二一四六一〇〇四四</p>	<p>別格本山 大須観音寶生院 貫主 岡部快圓 〒四六〇〇〇一一 名古屋市中区大須二二一四七 ☎〇五二一三三一一六五二五 FAX 〇五二一三三一一九三三三</p>
<p>天台真盛宗 総本山 西教寺 〒五二〇一〇一三 滋賀県大津市坂本五丁目一三一 ☎〇七七五七八一〇〇二三代</p>	<p>日蓮宗本山 大坊本行寺 貫首 中野日演 〒一四六一〇〇八二 東京都大田区池上二一〇一五 ☎〇三三三三五二一〇一五五 FAX 〇三三三三五三一一〇一一</p>	<p>安国寺専門僧堂 堂長 高階玉光 〒八一〇〇〇〇一 福岡県福岡市中央区天神四一四一四 ☎〇九二一四七一一二七七〇 FAX 〇九二一四七一一二七七九</p>	<p>宗教法人 傳通院 貫主 麻生諦善 〒一一二〇〇〇二 東京都文京区小石川三一四一六 ☎〇三三三八一四一三七〇一</p>
<p>秋葉總本殿可睡齋 齋主 采川道昭 〒四三七一〇〇六一 静岡県袋井市久能二九一五一 ☎〇五三八一四二二二二 FAX 〇五三八一四二二二二</p>	<p>西新井大師 總持寺 貫首 濱野堅真 〒一二三三〇八四一 東京都足立区西新井一一一五一 ☎〇三三三八九〇一三四五</p>	<p>聖観音宗 浅草寺 執事長 守山雄順 〒一一一〇〇三二 東京都台東区浅草二一三一 ☎〇三三三八四二一〇一八一代</p>	<p>法華宗(陣門流) 宗務総長 西山英仁 〒一七〇〇〇〇二 東京都豊島区果嶋五三三五六 ☎〇三三三九一八一七二九〇 FAX 〇三三三五七六一〇一一</p>
<p>天台宗 三徳山三佛寺 住職 米田良中 〒六八二一〇一三二 鳥取県東伯郡三朝町三徳一〇一〇 ☎〇八五八一四三一一二六六六</p>	<p>神田寺 真理舎 住職 友松浩志 〒一〇一〇〇二二 東京都千代田区外神田三十四一〇 ☎〇三三三三二五一一八六八三</p>	<p>浄土宗 梅窓院 住職 中島真成 〒一〇七一〇〇六二 東京都港区南青山二二二六一三八 ☎〇三三三三三〇四一八四四七 URL: <a href="http://www.hatsuin.or.jp/">http://www.hatsuin.or.jp/</a></p>	<p>浄土宗 長専院 〒一三五〇〇二二 東京都江東区三好一六一三 ☎〇三三三三三三三三三三三三三</p>

〈順不同〉



# 新年賀謹

癸卯 令和五年

公益社団法人 全日本仏教婦人連盟 副会長 <b>加用 稔子</b> 〒七三〇一〇〇四一 広島県広島市中区小町二二一 ☎〇八二二四一四一七四七二	公益社団法人 全日本仏教婦人連盟 副会長 <b>吉田 真理</b> 〒七三九一〇五九一 広島県廿日市市宮島町二二〇 ☎〇八二九一四四一〇一一一	公益社団法人 全日本仏教婦人連盟 顧問 <b>林 恵 智子</b> 〒三五九一一一一六 埼玉県所沢市東町二四一 ☎〇四一二九二九一五八七六
公益社団法人 全日本仏教婦人連盟 参与 <b>鈴木 トヨ子</b> 〒一六八一〇〇七四 東京都杉並区上高井戸一―二七一―五 ☎〇三三三三〇二二五八六七	公益社団法人 全日本仏教婦人連盟 参与 <b>末 廣 久美</b> 〒一一〇一〇〇〇一 東京都台東区谷中七―一四一―八 ☎〇三三三三二一四四七四	公益社団法人 全日本仏教婦人連盟 理事長 <b>花岡 眞理子</b> 〒三三三〇八〇七 栃木県小山市城東五―一―一〇 ☎〇二八五―二五―一三三三三三
公益社団法人 全日本仏教婦人連盟 常務理事 <b>大橋 百合子</b> 〒三三九一〇五二四 栃木県河内郡上三川町多功一八八八 ☎〇二八五―五三―一八八〇一	真言宗智山派 寶光院 公益社団法人 全日本仏教婦人連盟 常務理事 <b>日比野 郁皓</b> 〒一一一〇〇五一一 東京都台東区蔵前三―二二―一九 ☎〇三三三三八五一―四七二九 FAX 〇三三三三八五一―九七七〇	御瀧不動尊 金蔵寺 公益社団法人 全日本仏教婦人連盟 副理事長 <b>梨本 三千代</b> 〒二七三〇八五三 千葉県船橋市金杉六―二五―一 ☎〇四七―四四八―二八三三

〈順不同〉

# 新年賀謹

癸卯 令和五年

真言宗豊山派 寿福寺 住職 <b>高山 久照</b> 〒一七九一〇〇七四 東京都練馬区春日町三二―二―二二 ☎〇三三三九八八―二二六二	浄土真宗東本願寺派 妙清寺 住職 <b>本多 良之</b> 〒一一〇一〇〇一五 東京都台東区東上野六―一八―一七 ☎〇三三三三三三三三三三三三三三	株式会社経営総合研究所 代表取締役 <b>荒川 昌夫</b> 〒一〇五一〇〇〇一 東京都港区虎ノ門五―一三―一 虎ノ門四〇MTビル七階 ☎〇三三四五〇〇一―一六三
真言宗智山派 五台山竹林寺 四国八十八ヶ所霊場会 土佐部会長 住職 <b>海老塚 和秀</b> 〒七八一八二二五 高知県高知市五台山三五七七 ☎〇八八―八八―二一三〇八五 FAX 〇八八―八八―四一九八九三	妙智會 教団 〒一五一一〇〇五三 東京都渋谷区代々木三―三―三三 ☎〇三三三三三三三三三三三三三三 FAX 〇三三三三三三三三三三三三三三	大和証券株式会社 法人コンサルティング部 副部長 <b>佐藤 泰之</b> 〒一〇〇一六七五二 東京都千代田区丸の内一―九―一 グラントウキョウノースタワー ☎〇三三五五五―一九六六
真言宗智山派 寶光院 住職 <b>大橋 尚玄</b> 〒三二九一〇五二四 栃木県河内郡上三川町多功一八八八 ☎〇二八五―五三―一〇三三二 FAX 〇二八五―五三―一五九三九	深沢綜合法律事務所 代表弁護士 <b>柴田 龍太郎</b> 〒一七〇一六〇二二 東京都豊島区東池袋三―一―一 サンシャイン60二階二二号 ☎〇三三三三三三三三三三三三三三	株式会社大陸旅遊 取締役営業部長 <b>永田 政夫</b> 〒一六九一〇〇七五 東京都新宿区高田馬場一―三―一八―九二五 ☎〇九〇―一三―一四〇九一
天台宗 護国山天王寺 住職 <b>末 廣 照純</b> 〒一一〇一〇〇〇一 東京都台東区谷中七―一四一―八 ☎〇三三三三三三三三三三三三三三	長谷川法律事務所 弁護士 長谷川 正 弁護士 秋山 経生 弁護士 大島 義彦 弁護士 松近 英彦 〒二六二〇〇三 東京都新宿区新宿一―九―三 エルスタンザ四階 ☎〇三三三三三三三三三三三三三三 FAX 〇三三三三三三三三三三三三三三	学校法人 梅ヶ原学園理事長 認定こども園梅ヶ原幼稚園 園長 <b>花岡 義朗</b> 副園長 <b>花岡 宏樹</b> 〒三三三〇八〇七 栃木県小山市城東五―一―一〇 ☎〇二八五―二五―一三三三三三 FAX 〇二八五―二五―一七七二七 https://www.umegahara.ed.jp umegahara@mafor.ocn.ne.jp

〈順不同〉



# 謹賀新年

令和五年 癸卯

<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>維持会員 後藤陽子</p> <p>〒三六六一〇八二一 埼玉県深谷市田谷二〇八 ☎〇四八―五七一―〇八四四</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>維持会員 平林宣子</p> <p>〒一三三―〇〇五二一 東京都江戸川区東小岩二二―一四 ☎〇三―三三六七―二四九三五</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>維持会員 雲井由美子</p> <p>〒六五二―〇八三七 宝積山 能福寺 兵庫県神戸市兵庫区逆瀬川町一―三九 ☎〇七八―六五二―一七二五</p>	<p>新年名刺交換の願いを 申し上げますと、 多くの方々よりお申込み頂きまして、 厚く御礼申し上げます。 茲に掲載誌をお送り申し上げます、 御礼にかえさせて頂きたいと存じます。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

〈順不同〉

## お知らせ

### 新年修正会

あけましておめでとうございます

会員の皆様には初春をお迎えのことと  
心よりお慶び申し上げます。

下記の通り令和5年修正会を開催いたします。

まだまだコロナ禍の状況ですので小規模の  
開催を予定しております。

記

日時 令和5年1月30日(月)  
11時30分(受付11時)

会場 浄土宗 池中山 盈満院 樞寺  
東京都台東区蔵前3-22-9  
☎ 03-3851-4729

### 文化講座

コロナ禍のため延期しておりました  
京都仏教セミナーを参加者30名に限り  
下記の通り実施する運びとなりました。

日時 令和5年6月2日(金)

会場 西本願寺 妙法院門跡 三十三間堂

### 第11回総会

日時 令和5年6月14日(水)

会場 浄土真宗東本願寺派  
本山東本願寺

### 第70回記念大会を 予定しております

\*詳細は順次ご案内いたします

# 謹賀新年

令和五年 癸卯

<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>常務理事 遠賀令子</p> <p>〒一四〇―〇〇一五 東京都品川区西大井五―二二―二五 ☎〇三―三七七―一四八―一六</p>	<p>真言宗智山派 竹林寺 公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>常務理事 海老塚るり子</p> <p>〒七八一―八一二五 高知県高知市五台山三五七七 ☎〇八八―八八二―三〇八五</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>理事 本多端子</p> <p>〒一一〇―〇〇一五 東京都台東区東上野六一―八一―七 ☎〇三―三八四―四三―八九</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>理事 松井百合子</p> <p>〒二七二―〇一四四 新井寺 千葉県市川市新井一―九一―一 ☎〇四七―三五七―八三―一九 FAX 〇四七―三五七―八三―九九</p>
<p>真言宗豊山派仏教婦人会会長 公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>理事 岩脇孝子</p> <p>〒一一四―〇〇一四 東覚寺 東京都北区田端二―七―一三 ☎〇三―三八二―一〇三―一</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>理事 桶屋良法</p> <p>〒五三八―〇〇五四 念法真教 総本山金剛寺 大阪市鶴見区緑三丁目四番二二号 ☎〇六一―六九一―二二―〇一 FAX 〇六一―六九一―一七―六六七</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>理事 村主みや子</p> <p>〒六六五―〇八六一 中山寺総持院 兵庫県宝塚市中山寺二―一―一 ☎〇七九―七一―八一一―〇〇六五</p>	<p>天台宗寺院婦人連合会顧問 公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>理事 米田陽子</p> <p>〒六八二―〇一三二 鳥取県東伯郡三朝町三徳一〇一〇 ☎〇八五―八四三―二六―六六</p>
<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟 監事</p> <p>公認会計士 木村匡成</p> <p>〒一五一―〇〇五一 東京都渋谷区千駄ヶ谷四―五―一〇 ☎〇三―五七七―二一〇―六七七</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>監事 篠田節子</p> <p>〒四二―一三三〇五 静岡県富士市岩淵三二八 ☎〇五四―五八―一〇二―四六</p>	<p>公益社団法人 全日本仏教婦人連盟</p> <p>監事 湯浅正江</p> <p>〒二八六―〇〇二一 千葉県成田市土屋八 ☎〇四七―六一―二一―三四一</p>	<p>静岡県仏教婦人会</p> <p>会長 村松小鶴枝</p> <p>〒四三九―〇〇三七 静岡県菊川市西方三七八〇―一 ☎〇五三―七―三五―二九三九</p>

〈順不同〉



### 第46回全日本仏教徒会議、 身延山大会に参加して

2022年10月7日早朝からの土砂降りの中、第46回全日本仏教徒会議、身延山大会は開催されました。開会式は身延山大学講堂にて大会実行副委員長、鈴木哲師によって開会の辞が読み上げられ、山梨県仏教会会長、近藤英夫導師により開会法要が行われました。

大会のテーマは「共に生きる尊さ」―だれも取り残さない社会の実現にむけて―SDGs時代における仏教の役割を考える端緒となりうるテーマであります。平岡聡氏（京都文教学園学園長）による記念講演「現代における仏教の可能性を問う」の中で、菩薩の説く四誓願の「願」はまさにSDGsと同じである、誓願を実現する為に17項目あるSDGsの中で1つ位当てはまるものがあるはず―まずはやってみよう―

記念講演後、身延山現代音楽法要・『オラトリオ日蓮聖人』の合唱が「黒龍」のある久遠寺本堂に

響き渡り、ひと時癒されました。2日目は平岡聡氏、ロバート・キャンベル氏等によるテーマに沿ったパネルディスカッションが行われました。全日本仏教会会長、大谷暢裕門主による大会記念法要が行われ、その後閉会式に移り次回大阪大会へ会旗の受け渡しがあり無事大会は終了しました。

遠賀令子



### 第34回 成道会の集い

12月9日（金）コロナ禍の中の500名限定で有楽町マリオン朝日ホールにて東京都仏教連合会主催、全日本仏教婦人連盟後援による成道会が開催されました。

第1部の東京都仏教連合会山田一眞会長法要の下に当連盟六名の有志で献灯、献花、献香のお役を勤めさせていただきました。

第2部は「何を大切に生きるか」と題し、大本山總持寺副貫首盛田正孝師が講演され、続いて、第3部は声楽家・カウンターテノール歌手上杉清仁師による「御詠歌と私」声楽から見る御詠歌のお話と歌声を楽しみました。



### 仏婦 NEWS抄

私たちの  
日々のあゆみ  
2022年10月～12月

#### 10月

October

4日 第46回正力松太郎賞表彰式・祝賀会（東京グランドホテル）

6日 第1回編集会議（樞寺）

7日・8日 第46回全日本仏教徒会議山梨・身延山大会（総本山身延山）

25日 第179回宗教法人審議会（文化庁）

26日 全日本仏教会第7回花まつりポスター及び絵はがき新デザイン選定審査会（港区・明照会館）

#### 11月

November

8日 第180回宗教法人審議会（文化庁）

9日 (公財)全日本仏教会第37回理事会（オンライン会議）



### 子どもたちに豊かな地球をつなぐキャンペーン

理事長 花岡真理子

三団体（全国青少年教化協議会・日本仏教保育協会・全日本仏教婦人連盟）では、日本に避難している子ども達に直接支援をする為、「ウクライナ子ども避難民支援」として昨年11月14日に石川県能登の（学法）日本航空学園日本航空高等学校へ神仁師と訪問しました。高校では理事長梅澤重雄様はじめ校長先生・教頭先生・担当の先生達のお話を伺う事が出来ました。

ウクライナの子供達3名高校1年生女子、高校2年生女子、高校1年生男子に会いました。



この3名の子供達はとても熱心に日本語を勉強し、日本に早くなじもうとしている様子でしたが祖国に帰りたい気持ちを抑えている様子に涙が出ました。当連盟から支援金10万円をお渡し致しました。「ありがとうございます」と、日本語で答えてくれました。

来年度からは、このウクライナの高校1年生女子1名をおおぞら奨学基金で支援していきます。



#### 12月

December

14日 ウクライナ難民支援のための日本航空学園視察（能登）

21日 第181回宗教法人審議会（文化庁）

28日 第2回編集会議（樞寺）

5日 第9回子どもたちに豊かな地球をつなぐキャンペーン会議（東京グランドホテル）

9日 第34回成道会の集い（有楽町朝日ホール）

14日 第182回宗教法人審議会（文化庁）

26日 「全佛婦」発送

28日 仕事納め

### 事務局 だより



全日仏婦事業に多くの方々よりご協力いただきありがとうございます。それぞれの事業に活用させていただきますので、どうぞ今後ともよろしく願っています。（順不同・敬称略12月15日現在）



念法真教様から500巻届きました。ご協力者の皆様ありがとうございました。

- ▼賛助金にご協力の方 大聖院
- ▼ご芳志を頂きました方々 南澤道人 下村聖登 花岡真理子 本多端子 大橋百合子 海老塚るり子 河原時子
- ▼社会福祉基金にご協力の方々 本願寺 白倉実津代 梨本三千代 林房江
- ▼写経運動にご協力の方々 念法真教 村上和之 末廣久美 篠田節子 佐々木公子 林房江 木村真奈美 海老名初江
- ▼あおぞら奨学基金にご協力の方々 篠田節子 佐々木公子 丸山弘子 村井惇匡
- ▼ウクライナ支援に協力の方 桶屋良法
- ▼「全佛婦」誌代にご協力の方々 末廣久美 篠田節子
- ▼心の募金にご協力の方々 第69回大会に参加されました皆様